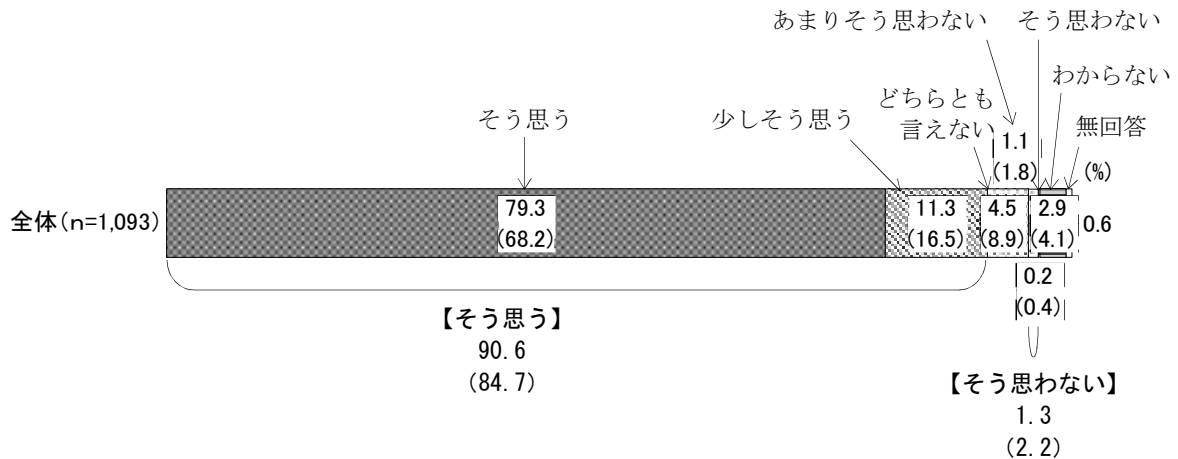


Ⅶ 人権意識

1. 「人権」の大切さについて

－【そう思う】が約9割－

問18 あなたは日常生活の中で「人権」が大切だと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



「人権」が大切だと思うかについては、「そう思う」（79.3%）と「少しそう思う」（11.3%）を合わせた【そう思う】（90.6%）が約9割となっている。一方、「あまりそう思わない」（1.1%）と「そう思わない」（0.2%）を合わせた【そう思わない】（1.3%）はわずかとなっている。

－【そう思う】が約6ポイント増加－

前回調査（平成24年）と比べると、【そう思う】は約6ポイント増加している。内訳としては、「そう思う」が約11ポイント増加している。

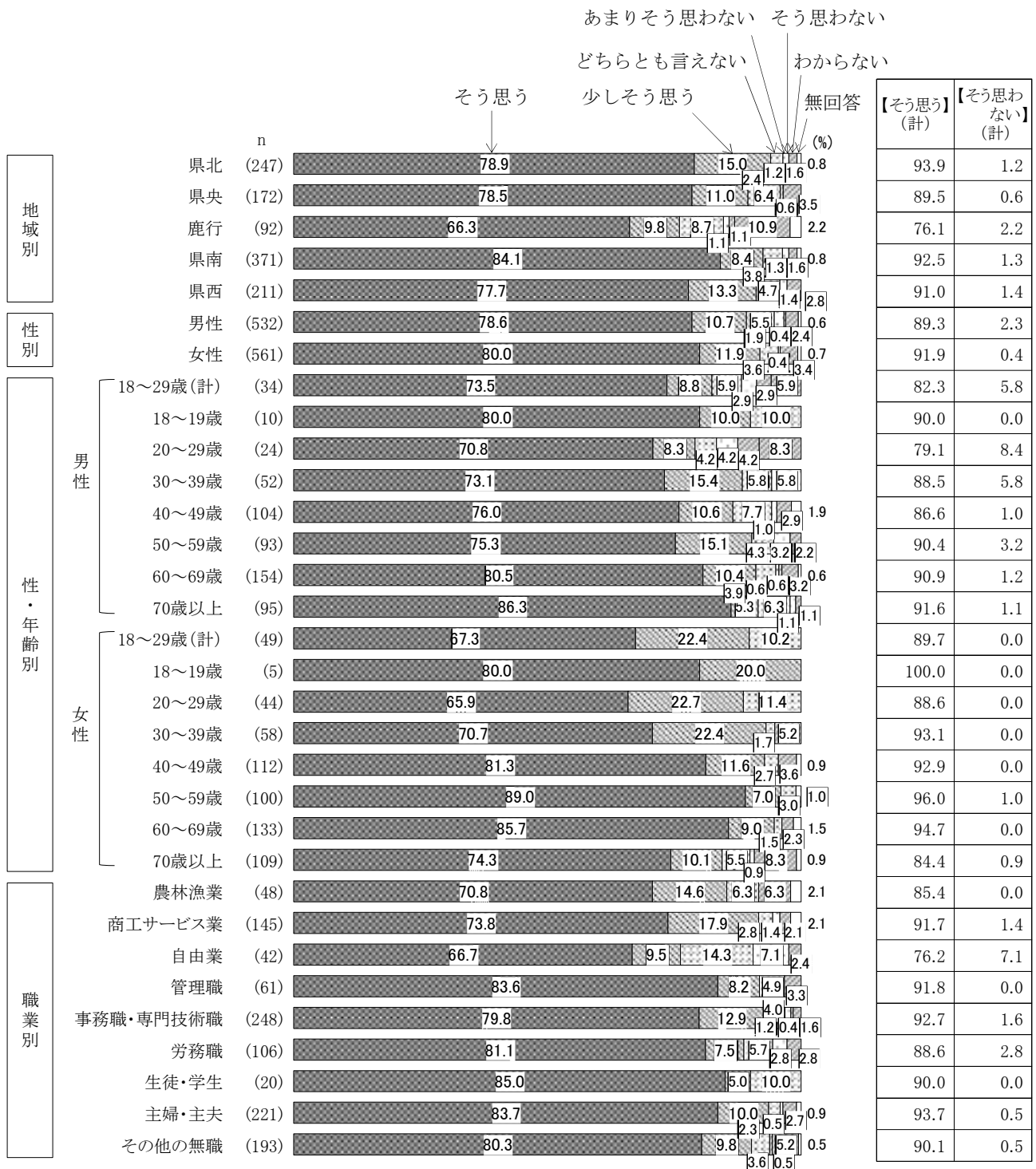
－鹿行で【そう思う】が7割台半ば－

地域別でみると、【そう思う】は、鹿行（76.1%）で7割台半ばと低くなっている。

－女性の30代、50代、60代で【そう思う】が9割台半ば－

性・年齢別でみると、【そう思う】は、女性の30代（93.1%）、50代（96.0%）、60代（94.7%）で9割台半ばと高くなっている。

図Ⅷ 18-1 「人権」の大切さについて
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



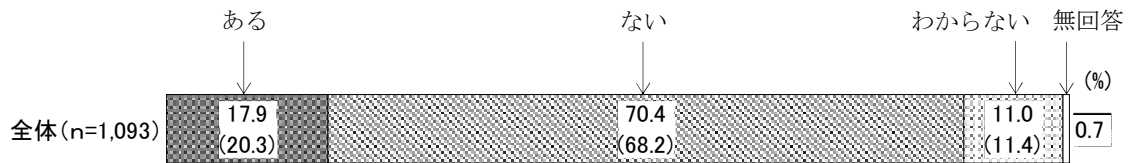
(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

2. 人権が侵害された経験

(1) 人権が侵害された経験の有無

－「ある」は約2割－

問19 あなたは、自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成24年の調査結果

※「わからない」は、平成24年は「わからない・無回答」

自分の人権が侵害されたと感じたことが「ある」(17.9%)は約2割となっている。一方、「ない」(70.4%)は約7割となっている。

－特に大きな増減はない－

前回調査(平成24年)と比べると、特に大きな差はみられない。

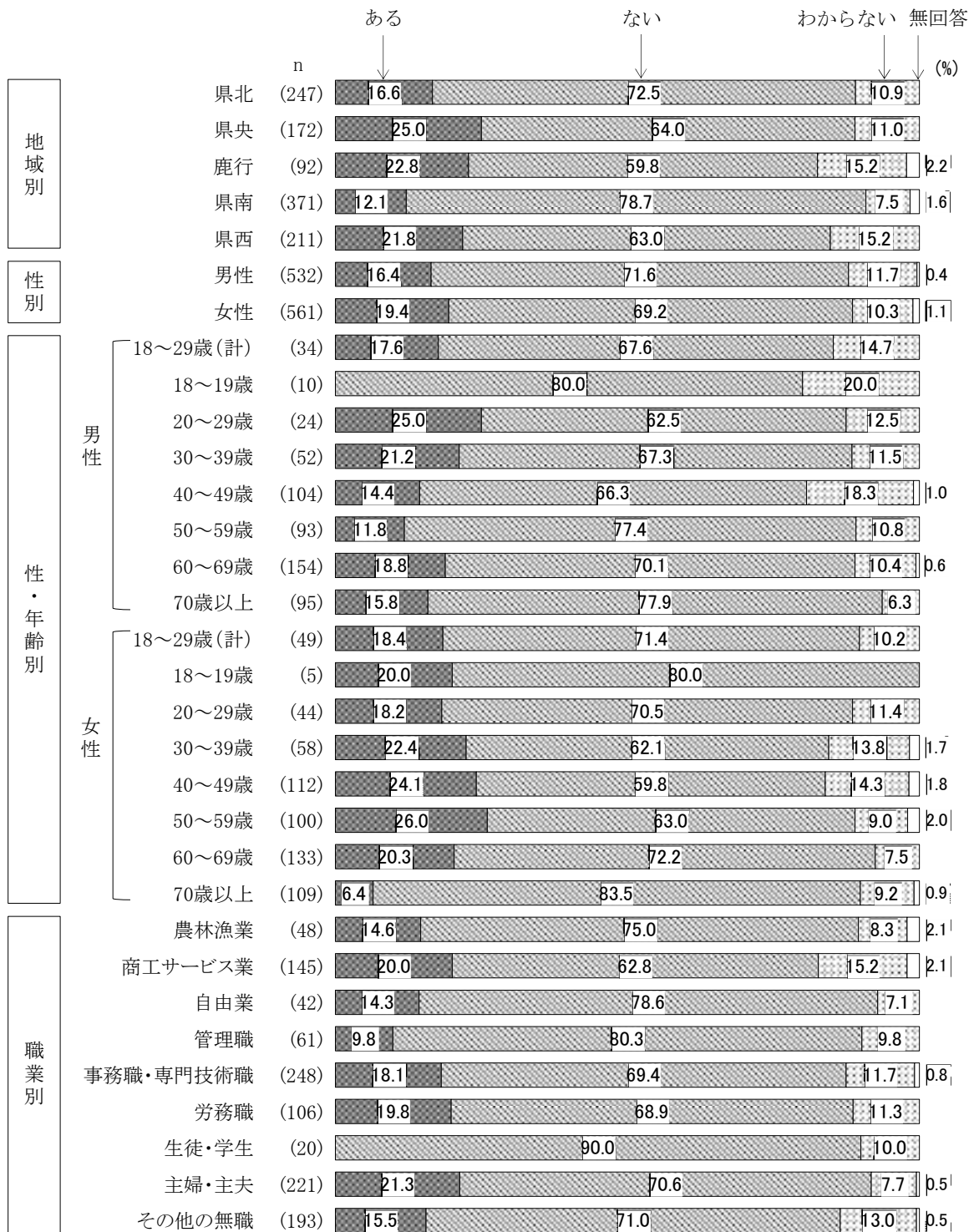
－県央で「ある」が2割台半ば－

地域別で見ると、「ある」は、県央(25.0%)で2割台半ばと最も高くなっている。

－女性の40代と50代で「ある」が2割台半ば－

性・年齢別で見ると、「ある」は、女性の40代(24.1%)と50代(26.0%)で2割台半ばと高くなっている。

図Ⅶ 19-1 人権が侵害された経験の有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



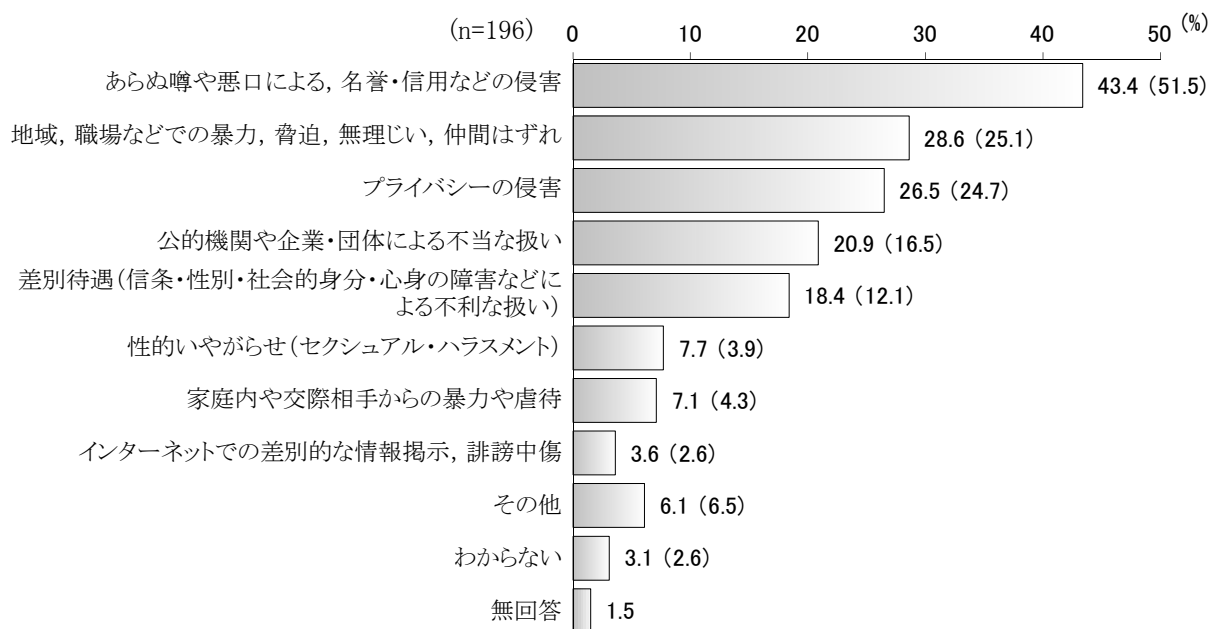
(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

(2) 人権が侵害されたと感じた状況

－「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が4割台半ば－

(問19で「1 ある」と回答した方のみ)

問19-1 それほどのような場合ですか。差し支えがなければお聞かせください。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成24年の調査結果

※「わからない」は、平成24年は「わからない・無回答」

自分の人権が侵害されたことが「ある」と回答した方に、その状況を聞いたところ、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」(43.4%)が4割台半ばと最も高く、次いで、「地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ」(28.6%)、「プライバシーの侵害」(26.5%)、「公的機関や企業・団体による不当な扱い」(20.9%)が2割台で続いている。

－「差別待遇(信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不利な扱い)」が約6ポイント増加－

前回調査(平成24年)と比べると、「差別待遇(信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不利な扱い)」が約6ポイント増加している。一方、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」は約8ポイント減少している。

－県央と県西で「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が約5割－

地域別でみると、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」は、県央(48.8%)と県西(47.8%)で約5割と高くなっている。

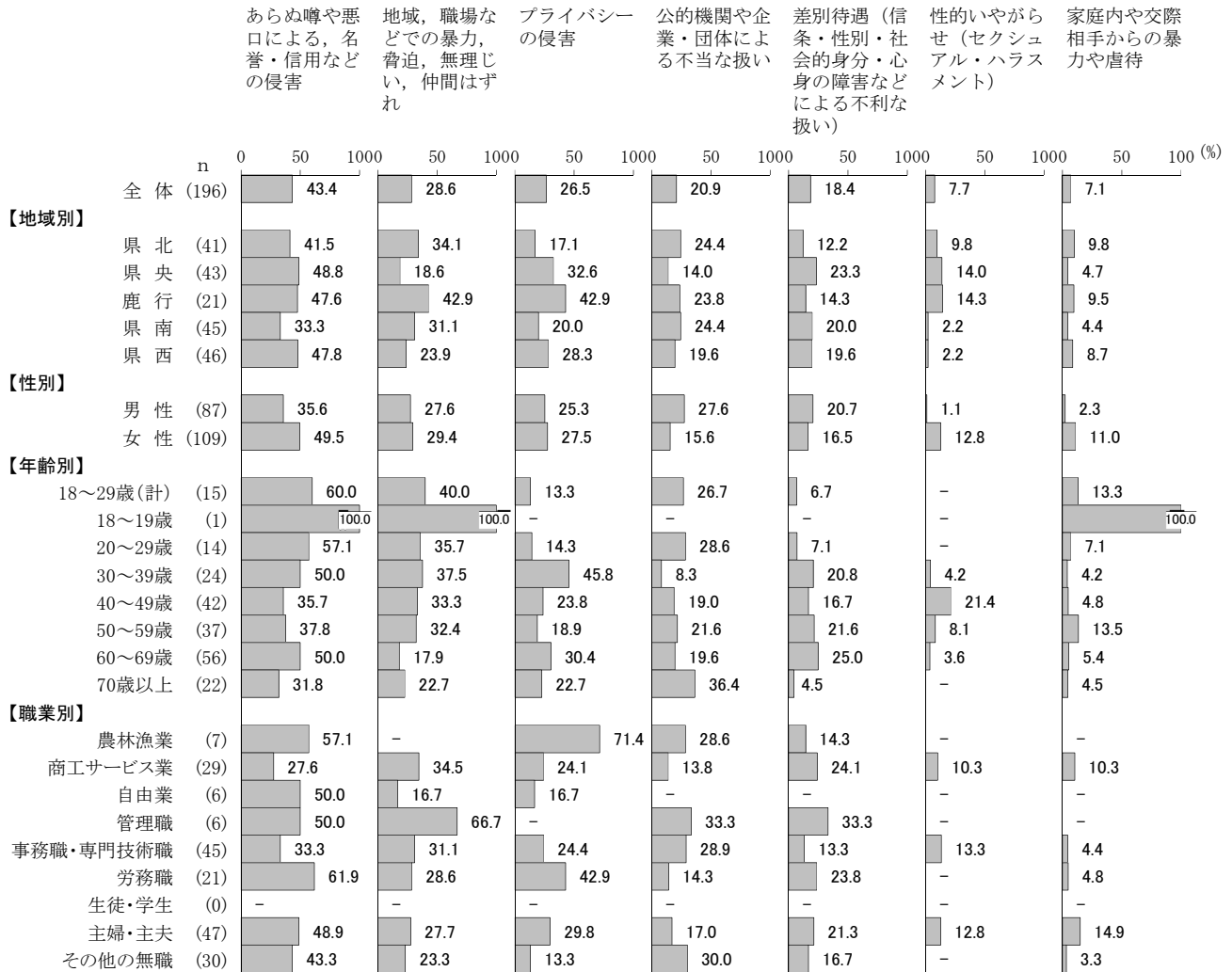
－女性で「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が男性よりも約14ポイント高い－

性別でみると、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」は、女性(49.5%)が男性(35.6%)よりも約14ポイント高くなっている。また、「性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)」は、女性(12.8%)が男性(1.1%)よりも約12ポイント高くなっている。一方、「公的機関や企業・団体による不当な扱い」は、男性(27.6%)が女性(15.6%)よりも12ポイント高くなっている。

—60代で「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が5割—

年齢別で見ると、「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」は、60代（50.0%）で5割と高くなっている。

図Ⅶ 19-1-1 人権が侵害されたと感じた状況
(地域別, 性別, 年齢別, 職業別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

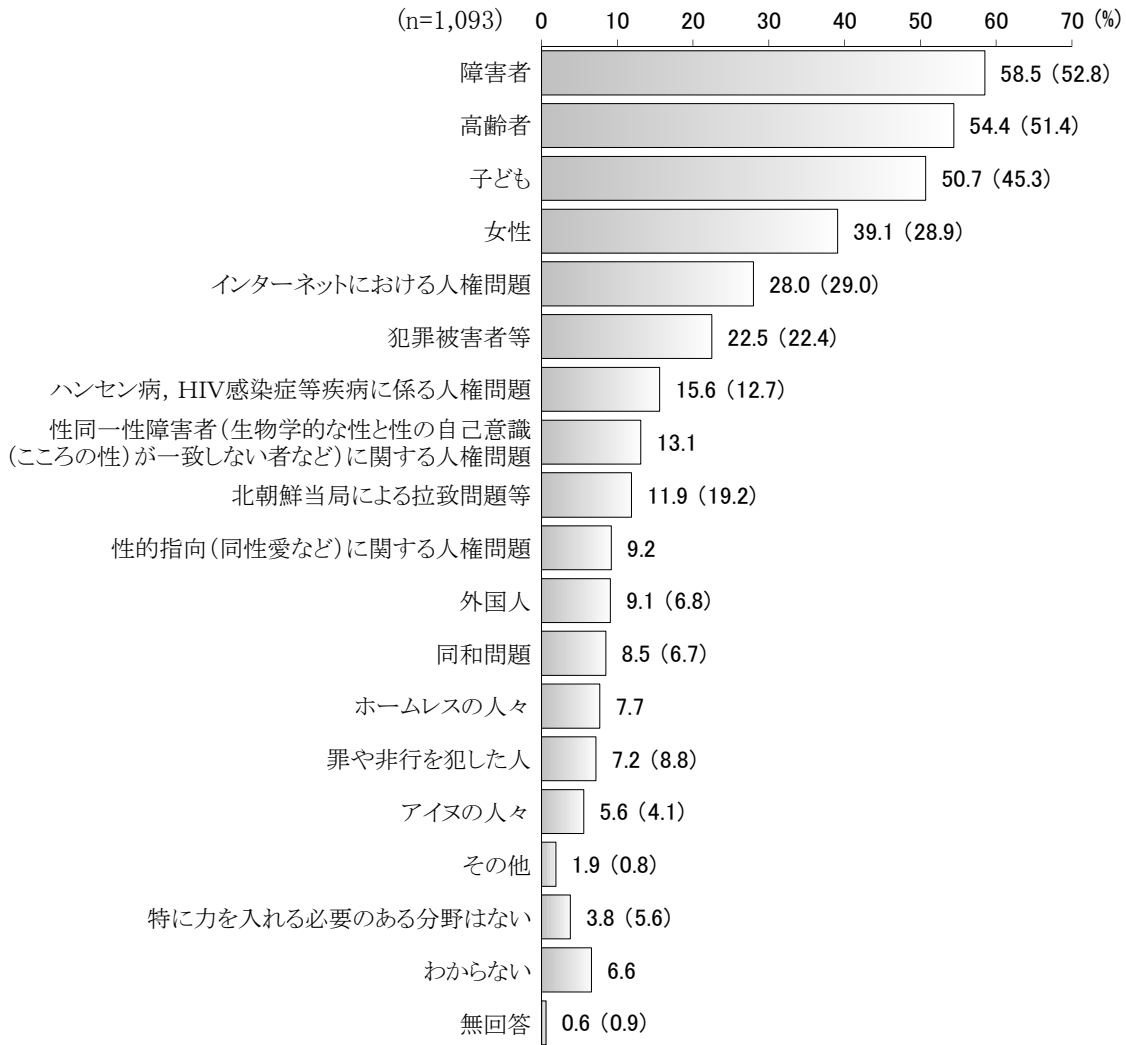
表Ⅶ 19-1-1 人権が侵害されたと感じた状況
(前回調査との比較—上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28) n=196	あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害 43.4	地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ 28.6	プライバシーの侵害 26.5	公的機関や企業・団体による不当な扱い 20.9	差別待遇（信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不利な扱い） 18.4
前回調査 (H24) n=231	あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害 51.5	地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ 25.1	プライバシーの侵害 24.7	公的機関や企業・団体による不当な扱い 16.5	差別待遇（信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不利な扱い） 12.1

3. 今後、力を入れるべき人権の分野

－「障害者」が約6割－

問20 人権にはさまざまな分野がありますが、今後、どの分野に力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成24年の調査結果

※「性同一性障害者(生物学的な性と性の自己意識(こころの性)が一致しない者など)に関する人権問題」「性的指向(同性愛など)に関する人権問題」「ホームレスの人々」「わからない」は、平成24年では選択肢になし

今後、力を入れていくべき人権の分野としては、「障害者」(58.5%)が約6割と最も高く、次いで、「高齢者」(54.4%)と「子ども」(50.7%)が5割台で続いている。

－「女性」が約10ポイント増加－

前回調査(平成24年)と比べると、「女性」が約10ポイント、「障害者」が約6ポイント、「子ども」が約5ポイント増加している。一方、「北朝鮮当局による拉致問題等」は約7ポイント減少している。

— 県央，県南，県西で「障害者」，県北と鹿行で「高齢者」が1位 —

地域別でみると，県央，県南，県西で「障害者」，県北と鹿行で「高齢者」が1位となっている。

— 男女ともに「障害者」が1位 —

性別でみると，男女ともに「障害者」が1位となっており，以下，上位5位は同じ項目となっている。なお，「女性」は，女性（44.9%）が男性（32.9%）よりも12ポイント高くなっている。

— 男女ともに40代から60代で「障害者」が1位 —

性・年齢別でみると，男女ともに40代から60代で「障害者」が1位となっている。なお，「障害者」は，女性の50代（68.0%）と60代（67.7%）で約7割と高くなっている。

— 男性の18～29歳，男女の70歳以上で「高齢者」が1位 —

性・年齢別でみると，男性の18～29歳，男女の70歳以上で「高齢者」が1位となっている。なお，「高齢者」は，男性の70歳以上（63.2%）で6割台半ばと最も高くなっている。

— 男女ともに30代で「子ども」が1位 —

性・年齢別でみると，男女ともに30代で「子ども」が1位となっている。なお，「子ども」は，女性の30代（63.8%）で6割台半ばと最も高くなっている。

表Ⅶ 20-1 今後，力を入れるべき人権の分野
（地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別—上位5項目）

（単位：％）

		1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,093		障害者 58.5	高齢者 54.4	子ども 50.7	女性 39.1	インターネットにおける人権問題 28.0
【地域別】	県北 n=247	高齢者 57.5	障害者 53.0	子ども 47.8	女性 42.9	インターネットにおける人権問題 27.9
	県央 n=172	障害者 58.7	高齢者 54.1	子ども 45.3	女性 37.2	インターネットにおける人権問題 30.2
	鹿行 n=92	高齢者 51.1	障害者 50.0	女性 44.6	子ども 43.5	インターネットにおける人権問題 30.4
	県南 n=371	障害者 66.0	子ども 58.2	高齢者 56.1	女性 37.7	犯罪被害者等 26.7
	県西 n=211	障害者 55.0	高齢者 49.8	子ども 48.3	女性 36.0	インターネットにおける人権問題 29.4
	男性 n=532	障害者 57.0	高齢者 54.5	子ども 48.9	女性 32.9	インターネットにおける人権問題 28.4
【性別】	女性 n=561	障害者 59.9	高齢者 54.4	子ども 52.4	女性 44.9	インターネットにおける人権問題 27.6

〈続き〉表Ⅶ 20-1 今後、力を入れるべき人権の分野
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位5項目)

(単位：%)

		1位	2位	3位	4位	5位
【性・年齢別】 男性	18～29歳 (計) n=34	高齢者 55.9	障害者／子ども 47.1		女性／インターネットにおける人権問題 32.4	
	18～19歳 n=10	高齢者／子ども／インターネットにおける人権問題 40.0			障害者／性同一性障害者に関する人権問題 30.0	
	20～29歳 n=24	高齢者 62.5	障害者 54.2	子ども 50.0	女性 41.7	インターネットにおける人権問題 29.2
	30～39歳 n=52	子ども 53.8	障害者 51.9	高齢者 44.2	インターネットにおける人権問題 40.4	女性 36.5
	40～49歳 n=104	障害者 58.7	子ども 54.8	高齢者 51.9	インターネットにおける人権問題 35.6	女性 32.7
	50～59歳 n=93	障害者 57.0	高齢者 46.2	子ども 41.9	インターネットにおける人権問題 33.3	女性／犯罪被害者等 30.1
	60～69歳 n=154	障害者 59.7	高齢者 59.1	子ども 48.1	女性 33.8	犯罪被害者等 24.7
	70歳以上 n=95	高齢者 63.2	障害者 56.8	子ども 48.4	女性 32.6	北朝鮮当局による拉致問題等 17.9
女性	18～29歳 (計) n=49	女性 59.2	障害者 55.1	高齢者 44.9	子ども 42.9	インターネットにおける人権問題／性同一性障害者に関する人権問題 28.6
	18～19歳 n=5	障害者／高齢者／子ども／女性 60.0				インターネットにおける人権問題 20.0
	20～29歳 n=44	女性 59.1	障害者 54.5	高齢者 43.2	子ども 40.9	性同一性障害者に関する人権問題 31.8
	30～39歳 n=58	子ども 63.8	女性 56.9	障害者 55.2	高齢者 46.6	インターネットにおける人権問題 43.1
	40～49歳 n=112	障害者 58.9	高齢者／子ども 53.6		女性 43.8	インターネットにおける人権問題 30.4
	50～59歳 n=100	障害者 68.0	高齢者 59.0	子ども 56.0	女性 51.0	インターネットにおける人権問題 31.0
	60～69歳 n=133	障害者 67.7	高齢者 57.9	子ども 56.4	女性 43.6	インターネットにおける人権問題 28.6
	70歳以上 n=109	高齢者 55.0	障害者 48.6	子ども 41.3	女性 29.4	ハンセン病，HIV感染症等疾病に係る人権問題 16.5

〈続き〉表Ⅶ 20-1 今後、力を入れるべき人権の分野
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位5項目)

(単位：%)

		1位	2位	3位	4位	5位
【職業別】	農林漁業 n=48	障害者 56.3	高齢者 54.2	子ども 39.6	北朝鮮当局による 拉致問題等 22.9	女性 20.8
	商工サービス業 n=145	障害者 62.8	高齢者 57.9	子ども 51.7	女性 40.0	インターネットに おける人権問題 24.8
	自由業 n=42	障害者 57.1	子ども 54.8	高齢者 52.4	女性 38.1	犯罪被害者等 21.4
	管理職 n=61	障害者 65.6	高齢者／子ども 50.8		女性 34.4	インターネットに おける人権問題 29.5
	事務職・専門技術職 n=248	障害者 58.1	高齢者 49.6	子ども 49.2	女性 41.1	インターネットに おける人権問題 36.3
	労務職 n=106	高齢者 53.8	障害者 50.9	子ども 50.0	女性 42.5	インターネットに おける人権問題 32.1
	生徒・学生 n=20	障害者 65.0	高齢者 55.0	子ども 50.0	女性／インターネットにおける人権 問題／性同一性障害者に関する人権 問題 45.0	
	主婦・主夫 n=221	障害者 62.9	子ども 60.2	高齢者 57.5	女性 46.6	インターネットに おける人権問題 27.6
	その他の無職 n=193	高齢者 56.0	障害者 53.4	子ども 44.0	女性 31.1	インターネットに おける人権問題 21.2
【ライフステージ別】	独身期 n=111	障害者 51.4	高齢者 49.5	女性 44.1	子ども 43.2	インターネットに おける人権問題 37.8
	家族形成・成長 前期 n=58	子ども 70.7	障害者 58.6	女性 53.4	高齢者 50.0	インターネットに おける人権問題 37.9
	家族成長中期 n=116	子ども 59.5	障害者 56.0	高齢者 49.1	女性 44.8	インターネットに おける人権問題 44.0
	家族成長後期 n=102	障害者 58.8	高齢者 49.0	子ども 43.1	女性 35.3	インターネットに おける人権問題／ 犯罪被害者等 27.5
	家族成熟期 n=111	障害者 64.9	子ども 56.8	高齢者 52.3	女性 45.9	インターネットに おける人権問題 26.1
	高齢期 n=481	障害者 58.8	高齢者 58.6	子ども 49.3	女性 34.9	インターネットに おける人権問題 20.6
	その他 n=112	障害者 58.9	高齢者 57.1	子ども 46.4	女性 35.7	インターネットに おける人権問題 31.3

(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。

表Ⅶ 20-1 今後、力を入れるべき人権の分野
(前回調査との比較—上位5項目)

(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28) n=1,093	障害者 58.5	高齢者 54.4	子ども 50.7	女性 39.1	インターネットに おける人権問題 28.0
前回調査 (H24) n=1,137	障害者 52.8	高齢者 51.4	子ども 45.3	インターネットに おける人権問題 29.0	女性 28.9